

目標に向かい、努力する姿を子どもたちに見せたい

注目選手

安代中学校 教諭



永井 陽一 さん

ながい・よういち 41歳 石名坂



昭和56年生まれ。安代中教諭。母と愛犬のムギと暮らす。2人の弟も同じ競技に取り組み、次男の秀昭(ひであき)、三男の健弘(たけひろ)と「永井3兄弟」と呼ばれ、スキー界を牽引してきた。座右の銘は「走った距離は裏切らない」。夏場のトレードマークは短パン

「地元国体は4回目。日頃の練習の成果を発揮し、最大限のパフォーマンスを見せたい」と笑顔で話すのは、いわて八幡平白銀国体コンバインド競技に出場が期待される安代中教諭の永井陽一さん(市スキー連盟所属)。「国体の舞台に、弟のヒデとタケの兄弟3人が揃うのは10年ぶり。国体で同じクラスで戦うのは初めてなので、弟たちに負けないように頑張りたい」と意気込む。

地元出身でアルペールビル五輪金メダリストの三ヶ田礼一さんの活躍を見て、中学2年生から競技を始める。始めた頃は思うような結果が出ずに悩んだ時期もあったが、努力した分だけ強くなれるという信念の下、休むことなく練習を重ねた。努力を後押しする思いの強さが糧になり、県民体育大会2連覇や国体で入賞するなど着実に力を付け、大学卒業後に迎えた国体では初優勝。「教員になり、練習時間が限られる中で優勝だったので、とてもうれし

かった。競技を続けてこれたのは、一番近くで見守ってくれた母や職場の支えがあったから」と話す言葉に人柄がにじみ出る。教員になってから夏場のオフ

シーズンには、部活動指導や駅伝練習など、生徒の自主性を尊重しながらも、トレーニングを重ねる重要性を根気強く説き、一緒に汗を流す姿勢を貫いてきた。そんな教え子たちも見守る中での国体。「より気合いを入れて練習に取り組む」と語る永井さん。積み重ねの大切さを自ら生徒に実践して見せながら、兄弟での表彰台を目指し、今日も走り続ける。



第11回名寄コンバインドチャンピオン競技会で得意のクロカンで順位を上げる永井さん

【広告】

不眠症、自律神経症、不安神経症、眼・視力の悩み

薬のプロフェッショナルが  
あなたのご相談を承ります

漢方のあさひ薬局

西根中学校前店(旧 西根病院前)

八幡平市大更24-1-118(西根中学校前) TEL.0195-70-2311

編集後記

▽厚労大臣表彰の小野寺さんと古川さん。2人はプライベートでも親交があるとのこと。食を通じて市民の健康や地元食材のPRに貢献できればと前向きに語っていました。食の関連では平高通信で紹介の朝食レシピコンテスト。私も試食しましたが本当に美味しかったです。▽令和4年を振り返ってみると、さまざまな事がありました。北京五輪の感動から始まり、ハロウ校の開校、中止になっていったイベントの再開など活気を取り戻し始めた1年でした。本年2月には国体が開催されます。地元選手たちの活躍を皆さんに届けられるよう取材します。(雅)

